

さいとう もきち  
斎藤 茂吉



- \* 明治15年5月14日 山形県南村山郡金瓶村  
(現上山市金瓶) 守谷家に生まれる
- \* 昭和28年2月25日 没 (70歳)

## ○ 略歴

- 明治29年 東京で精神病院を営む同郷の斎藤家に寄宿して勉学。
- 明治38年 斎藤紀一の次女・輝子の婿として斎藤家に入籍。
- 明治39年 詩人の伊藤左千夫に入門。その後「アララギ」の編集を担当。
- 明治43年 東京帝国大学医科大学を卒業し、翌年東京府巣鴨病院医員となる。
- 大正6年 長崎医学専門学校教授として長崎に赴任。  
県立長崎病院精神科部長の嘱託を受ける。
- 大正10年 3月に長崎を離れ、10月、欧州留学に旅立つ。
- 大正13年 ウィーン・ミュンヘンでの留学を終え、帰国。  
帰国直前に青山脳病院全焼。
- 昭和2年 再建した青山脳病院院長に就任。前年、アララギの編集発行人となる。
- 昭和12年 帝国芸術院会員となる。
- 昭和15年 『柿本人磨』の業績により帝国学士院賞を受賞。
- 昭和26年 文化勲章を授与される。

## ○ 主な歌集

- 『赤光』(しゃっこう)(大正2年初版・大正13年改選第3版)
- 『あらたま』(大正10年)
- 『つゆじも』(昭和21年)
- 『白桃』(しろもも)(昭和17年)
- 『白き山』(昭和24年)
- 『ともしび』(昭和25年)(第1回読売文学賞受賞)